

就学援助

市教委と交渉しました

父母・住民団体のみなさんとともに就学援助改善を求めて市教育委員会と交渉（2月）＝左端が堀内市議



年収400万円以下なら 堀内市議に一度ご相談下さい

2・3月議会報告

就学援助とは？

小学校・中学校に通う子どもの中で、経済的な理由で学校に行くのが厳しい家庭に、文具や教材、給食などの費用を援助してくれる制度です（生活保護世帯はのぞく）。

4人家族で
年収450万円くらいが
もらえるラインかな…



入学準備金が倍に

共産党の 質問実る

就学援助のうち入学準備金の単価を国が倍に引き上げたことにともなつて、福岡市でも小学校は2万470円から4万600円、中学校は2万3500円から4万7400円に増額になります。

共産党が国会で、新日本婦人の会の

アンケート調査を示し、実際にかかる入学準備の費用は国の就学援助単価を大きく上回っていると指摘。「義務教育は無償」というにふさわしい抜本的な見直しが必要だ」と提案。厚労省も「水準の検証に取り組んでいきたい」と答えました（昨年5月）。

小学校で入学に 7万円かかる…

さらに充実を

日本共産党は、2月議会でこの問題を質問しました。

ランドセル、学習机、文具、体操服、上靴など実際に必要なものの価格を調査した結果、小学生で7万円前後必要になること、中学生では制服を含めて9万1518円かかるとする、市内中学校の入学説明資料を示して、

「今回の改定では到底足りないのではないか」として、さらなる増額を提案しました。

クラブ活動にも 就学援助を

また、福岡市教育委員会としてクラブ活動は教育の一環であり「重要」だと位置づけているのに、クラブ活動費を就学援助

の対象としていないことを追及。年間数万円かかるために、クラブ活動をやめていく現実をつきつけて、対象に追加するよう求めました。

改悪された就学援助の基準を元に戻すことも求めました。

教育長は増額も項目追加も拒否。基準も「適切」と言い放ちました。

ブラックバイトなくせ



9割のバイト職場で違反が



調査をもとに 労働局に提案

学生アルバイトについてのアンケート調査の結果について3月30日に記者会見し、堀内市議が出席しました（上の写真）。

労働基準法などに定められた労働条件の通知書を9割の職場がアルバイト学生に渡していない実態が明らかになりました。

若者を使い捨てにするブラックバイト。共産党市議団は、福岡市の学生100人に調査を行い、それをもとに福岡労働局と交渉し、抜本対策を要求。堀内市議も参加しました（上の写真）。全文は共産党市議団のホームページで見られます。

引き続き、市議会でも提案、要求していきます。